登録番号　　作成日　2022 年 6 月 8 日　　大阪鉄道病院

レジメン名　DLd療法(sc, 1-2サイクル目)　　対象疾患　多発性骨髄腫

ChemoNavi

★DLd療法(sc, 1-2サイクル目)

薬品名(成分名)	投与量	投与日
ダラキューロ(ダラツムマブ)	1800mg/body	day1, 8, 15, 22
レブラミド(レナリドマイド)	25mg/body	day1～21
レナデックス(デキサメタゾン)*	20mg/body	day1,2,8,9, 15, 16, 22, 23

＊75歳以上又は過小体重(BMI 18.5kg/m2未満)の患者はレナデックスを週20mgへの減量可

＊ダラキューロ配合皮下注1瓶15mL中にダラツムマブ1800mg含む

投与スケジュール

★DLd療法(sc, 1-2サイクル目)

	1	2	…	8	9	…	15	16	…	21	22	23	24	25	26	27	28
ダラキューロ	●			●			●				●						
レブラミド	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
レナデックス*	●	●		●	●		●	●			●	●					

投与サイクル数	★最大2サイクル
総投与時間	皮下注射・内服
血管外漏出リスク	ダラキューロ(ダラツムマブ):不明
投与時の注意事項	＊＊レナデックス、レスタミンコーワ、アセトアミノフェン、モンテルカストはダラキューロ投与1時間前に内服する。 ・ダラキューロは使用する30分前に冷蔵庫から取り出し、15-30℃に戻した後に使用する。 ・翼状針使用のため1瓶全量(約16mL)を抜き取る。 ・ダラキューロは注射針の目詰まりを避けるため、使用直前に皮下注針をシリンジに取り付ける。 ・ダラキューロは調製後、4時間以内に使用する。 ・臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に、約3-5分かけて投与する。 ・同一部位への反復注射は行わないこと。
備考欄	ダラキューロ投与前に不規則抗体のスクリーニングを含めた一般的な輸血前検査を実施すること。

治療内容

day1、8、15、22

内服

レナデックス　錠
分1朝　＊＊

レスタミンコーワ　3 錠
アセトアミノフェン　500 mg
モンテルカスト　1 錠
分1朝　＊＊

皮下注射

ダラキューロ　1800mg
腹部に皮下注

内服

レブラミド　錠
分1朝

day2, 9, 16,

内服

レナデックス　錠
分1朝

レブラミド　錠
分1朝

day3-7, 10-14, 17-21

内服

レブラミド　錠
分1朝

day23

内服

レナデックス　錠
分1朝

登録番号　335　　作成日　2022 年 6 月 8 日　　大阪鉄道病院

レジメン名　DLd療法(sc, 3-6サイクル目)　　対象疾患　多発性骨髄腫

ChemoNavi

★DLd療法(sc, 3-6サイクル目)

薬品名(成分名)	投与量	投与日
ダラキューロ(ダラツムマブ)	1800mg/body	day1, 15
レブラミド(レナリドマイド)	25mg/body	day1～21
レナデックス(デキサメタゾン)*	20mg/body	day1,2,8,9, 15, 16, 22, 23

＊75歳以上又は過小体重(BMI 18.5kg/m2未満)の患者はレナデックスを週20mgへの減量可

＊ダラキューロ配合皮下注1瓶15mL中にダラツムマブ1800mg含む

投与スケジュール

★DLd療法(sc, 3-6サイクル目)

	1	2	…	8	9	…	15	16	…	21	22	23	24	25	26	27	28
ダラキューロ	●						●										
レブラミド	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
レナデックス*	●	●		●	●		●	●			●	●					

投与サイクル数	★最大4サイクル
総投与時間	皮下注射・内服
血管外漏出リスク	ダラキューロ(ダラツムマブ):不明
投与時の注意事項	＊＊レナデックス、レスタミンコーワ、アセトアミノフェン、モンテルカストはダラキューロ投与1時間前に内服する。 ・ダラキューロは使用する30分前に冷蔵庫から取り出し、15-30℃に戻した後に使用する。 ・翼状針使用のため1瓶全量(約16mL)を抜き取る。 ・ダラキューロは注射針の目詰まりを避けるため、使用直前に皮下注針をシリンジに取り付ける。 ・ダラキューロは調製後、4時間以内に使用する。 ・臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に、約3-5分かけて投与する。 ・同一部位への反復注射は行わないこと。
備考欄	ダラキューロ投与前に不規則抗体のスクリーニングを含めた一般的な輸血前検査を実施すること。

治療内容

day1、15

内服
- レナデックス　錠　分1朝　＊＊
- レスタミンコーワ　3 錠
- アセトアミノフェン　500 mg
- モンテルカスト　1 錠
- 分1朝　＊＊

皮下注射
- ダラキューロ　1800mg
- 腹部に皮下注

内服
- レブラミド　錠　分1朝

day2, 8, 9, 16,

内服
- レナデックス　錠　分1朝
- レブラミド　錠　分1朝

day3-7, 10-14, 17-21

内服
- レブラミド　錠　分1朝

day 22, 23

内服
- レナデックス　錠　分1朝

登録番号　335　　作成日　2022 年 6 月 8 日　　大阪鉄道病院

レジメン名　DLd療法(sc, 7サイクル目以降)　　対象疾患　多発性骨髄腫

ChemoNavi

★DLd療法(sc, 7サイクル目以降)

薬品名(成分名)	投与量	投与日
ダラキューロ(ダラツムマブ)	1800mg/body	day1
レブラミド(レナリドマイド)	25mg/body	day1～21
レナデックス(デキサメタゾン)*	20mg/body	day1,2,8,9, 15, 16, 22, 23

＊75歳超える又は過小体重(BMI 18.5kg/m2未満)の患者はレナデックスを週20mgへの減量可

＊ダラキューロ配合皮下注1瓶15mL中にダラツムマブ1800mg含む

投与スケジュール

★DLd療法(sc, 7サイクル目以降)

	1	2	…	8	9	…	15	16	…	21	22	23	24	25	26	27	28
ダラキューロ	●																
レブラミド	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
レナデックス*	●	●		●	●		●	●			●	●					

投与サイクル数	★PDまで
総投与時間	皮下注射・内服
血管外漏出リスク	ダラキューロ(ダラツムマブ):不明
投与時の注意事項	＊＊レナデックス、レスタミンコーワ、アセトアミノフェン、モンテルカストはダラキューロ投与1時間前に内服する。 ・ダラキューロは使用する30分前に冷蔵庫から取り出し、15-30℃に戻した後に使用する。 ・翼状針使用のため1瓶全量(約16mL)を抜き取る。 ・ダラキューロは注射針の目詰まりを避けるため、使用直前に皮下注針をシリンジに取り付ける。 ・ダラキューロは調製後、4時間以内に使用する。 ・臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に、約3-5分かけて投与する。 ・同一部位への反復注射は行わないこと。
備考欄	ダラキューロ投与前に不規則抗体のスクリーニングを含めた一般的な輸血前検査を実施すること。

治療内容

day1

内服
レナデックス　錠
分1朝　＊＊

レスタミンコーワ　3 錠
アセトアミノフェン　500 mg
モンテルカスト　1 錠
分1朝　＊＊

皮下注射
ダラキューロ　1800mg
腹部に皮下注

内服
レブラミド　錠
分1朝

day2, 8, 9, 15, 16,

内服
レナデックス　錠
分1朝

レブラミド　錠
分1朝

day3-7, 10-14, 17-21

内服
レブラミド　錠
分1朝

day 22, 23

内服
レナデックス　錠
分1朝